巻末資料 - 3

湖内における津波挙動

（代表地点の水位・流速・流速ベクトルの時系列変化・卓越流向）

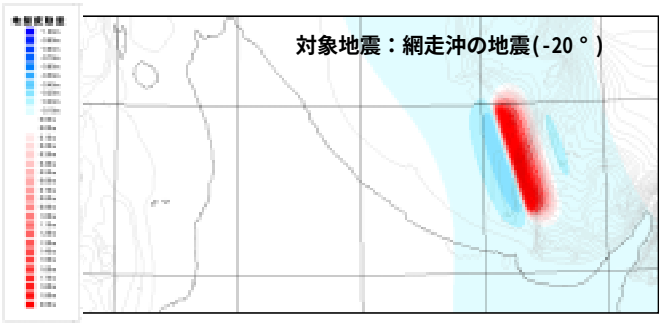
サロマ湖、能取湖

【巻末資料-３　目次】

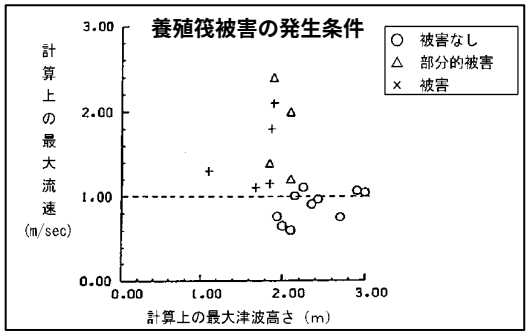
1.　サロマ湖 …… 1

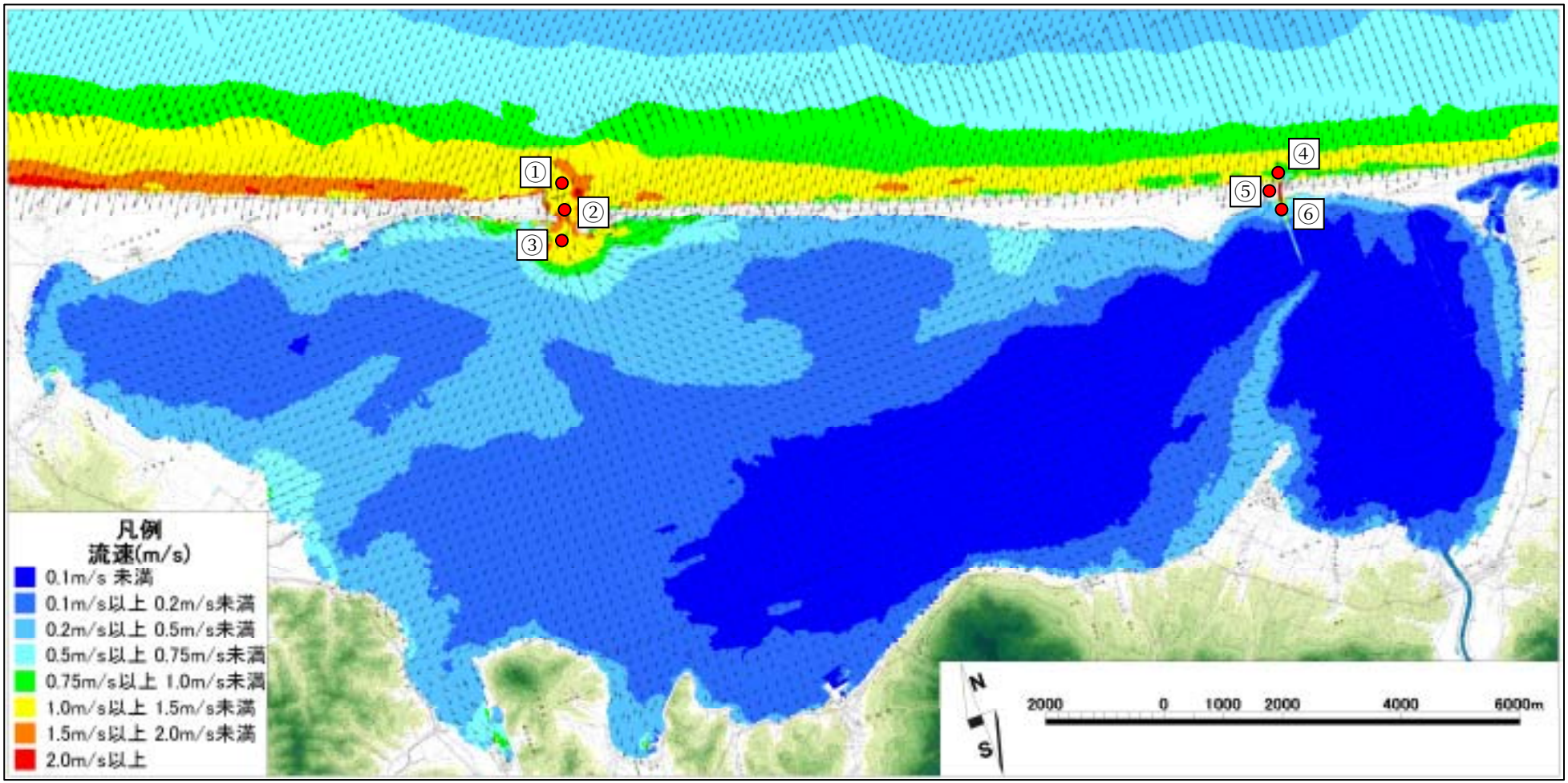
2.　能取湖 …… 5

1.湖内における津波の挙動について【サロマ湖（湖口）】



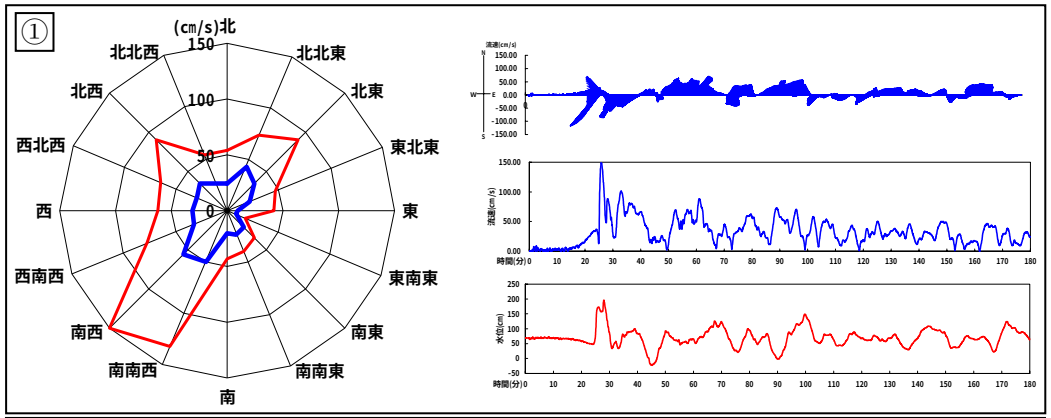
網走沖の地震に伴う津波は、サロマ湖前面に約 2.0mの津波が 20 分程度で来襲する。第１湖口で約 1.5m/s、第２湖口では 3.0m/s を超える非常に早い流速となる。津波水位、流速共に第１波が最も大きいと予測された。湖外で操業中の漁業関係者は湖内への退避は避け、迅速に浸水の深い(水深 50m以深)へ避難するなどの措置を講じることが被害低減対策となると考えられる。

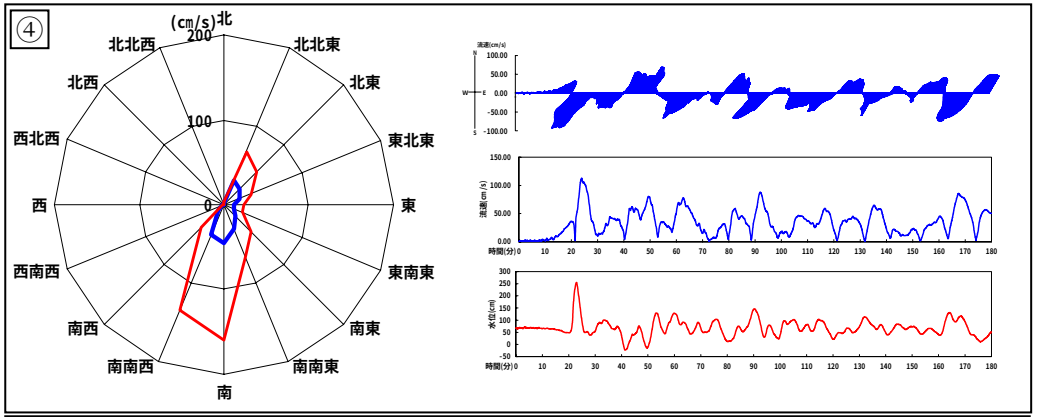


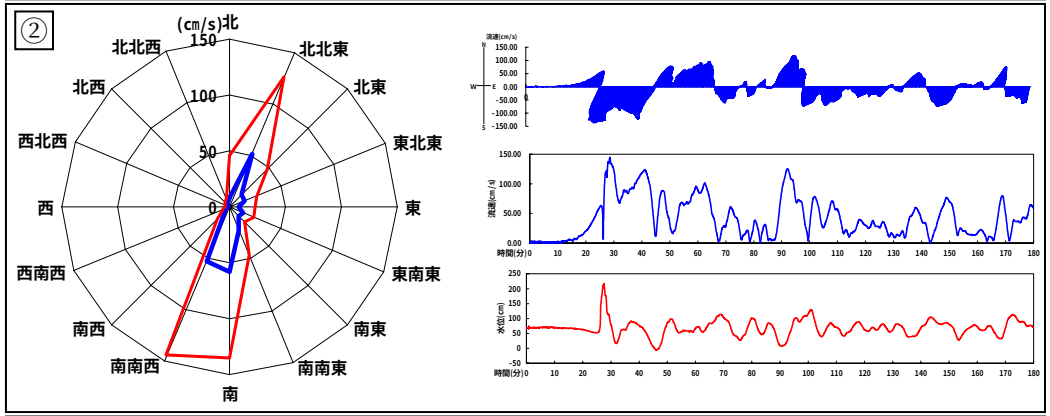


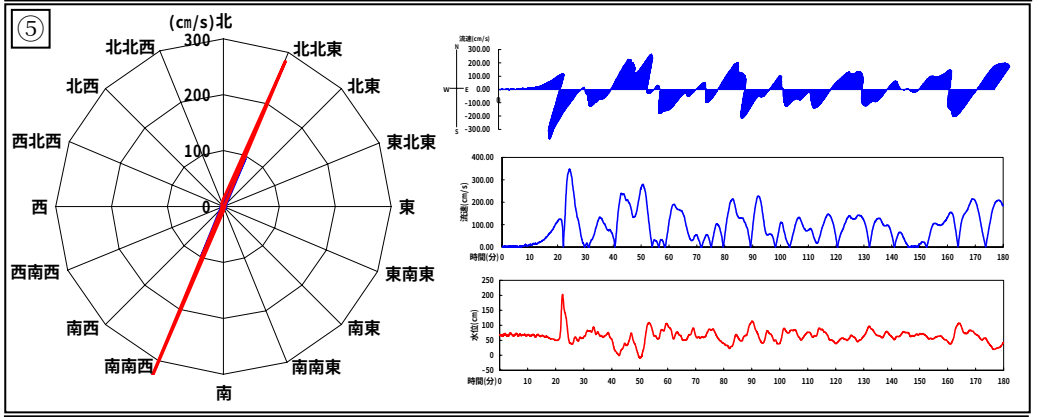
資料 3-1

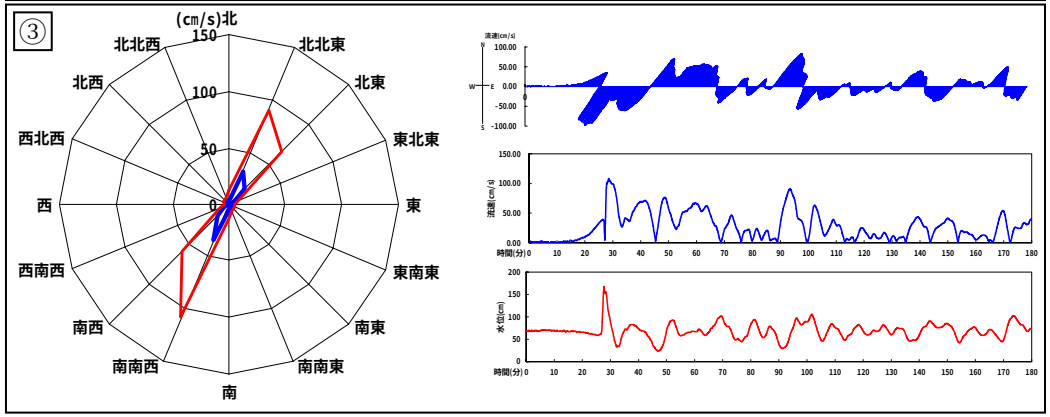
資料３-２

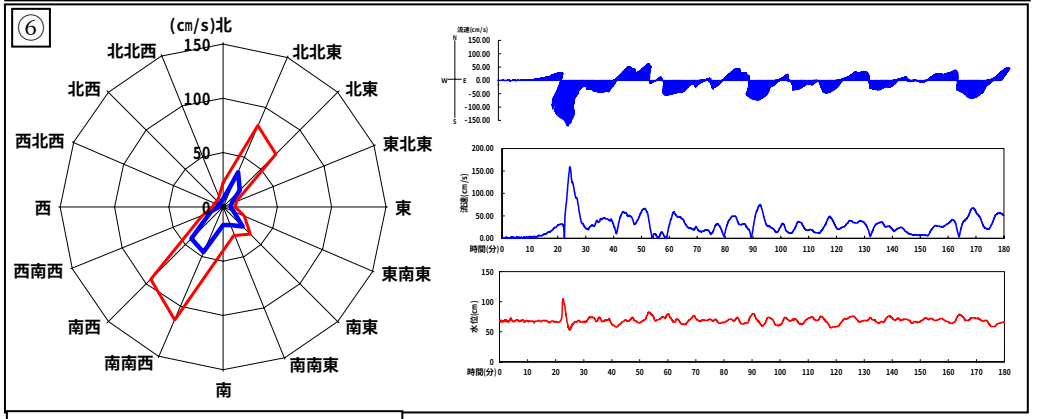








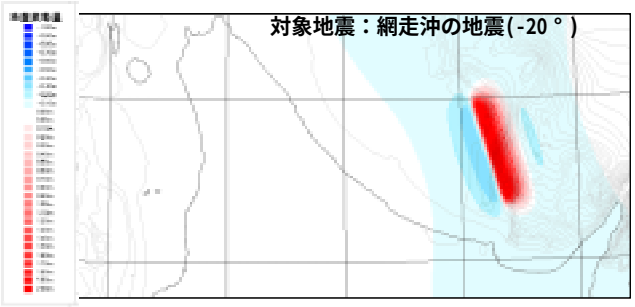




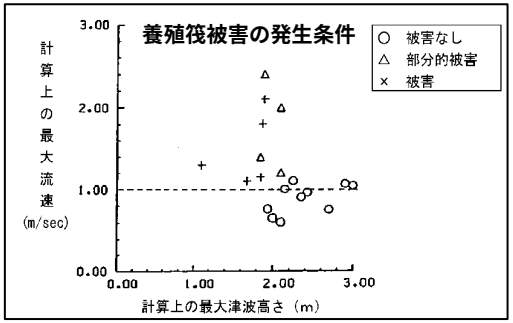
流向別出現頻度

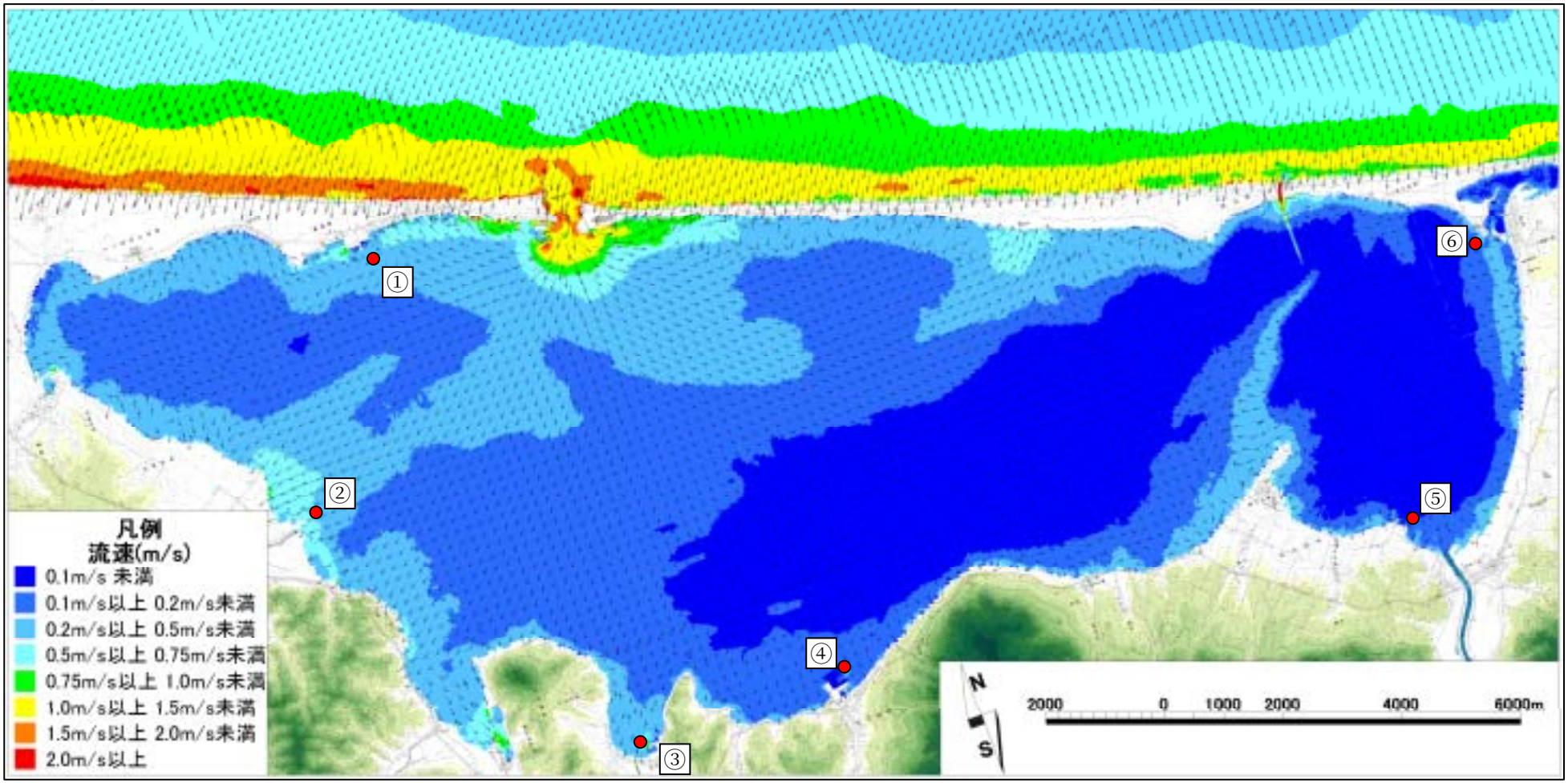
：平均流速　　：最大流速

1.湖内における津波の挙動について【サロマ湖(湖内)】



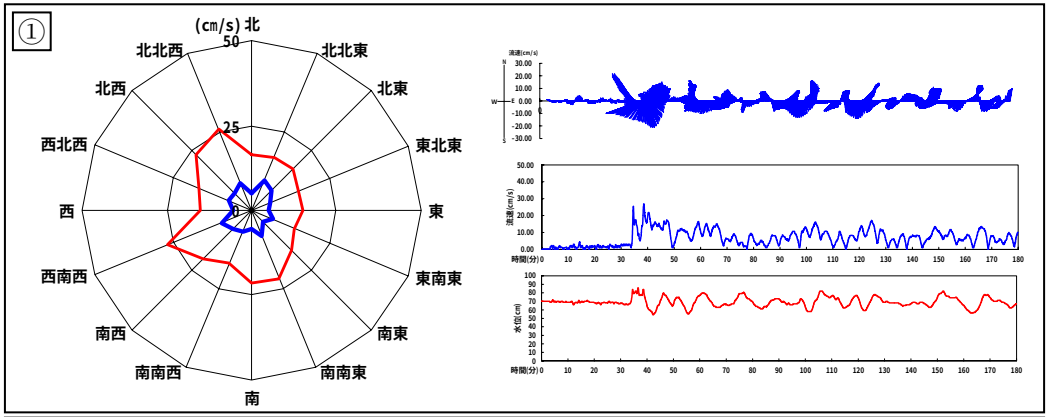
サロマ湖内での津波の挙動をみると、第２湖口よりも開口部の広い第 1 湖口からより多く津波が伝播してくることが予測された。湖内の漁港施設では 0.75m/s 程度の早い流れが発生するが、狭い湖口から拡散するため、湖中央部（特に東側）では流速は遅くなると予測された。操業中の漁業関係者は、湖外への退避は避け、寄港或いは、湖中央部か湖東方部への退避が望ましい。

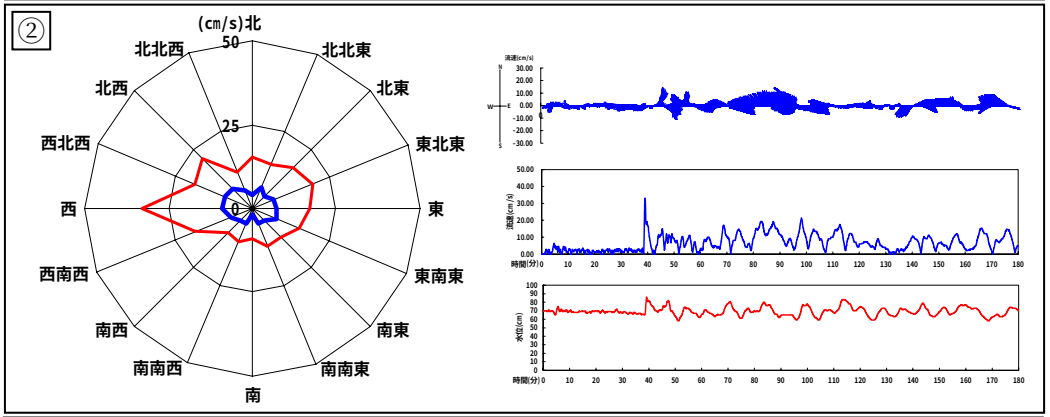


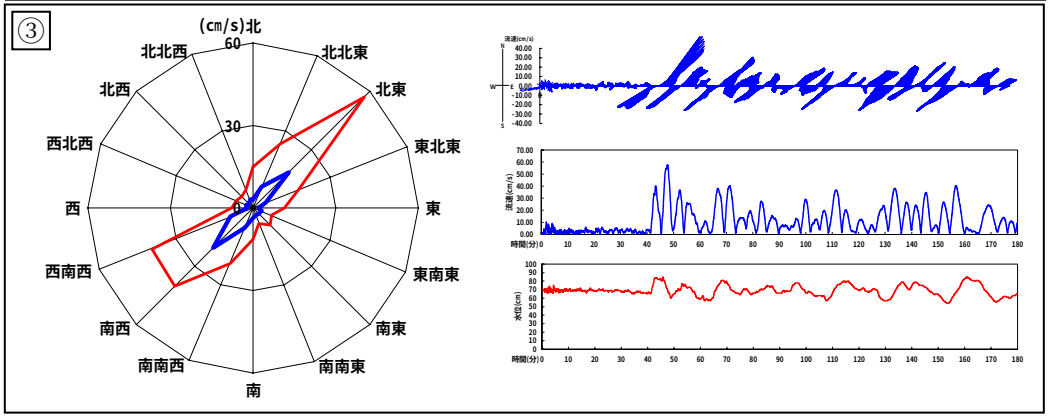


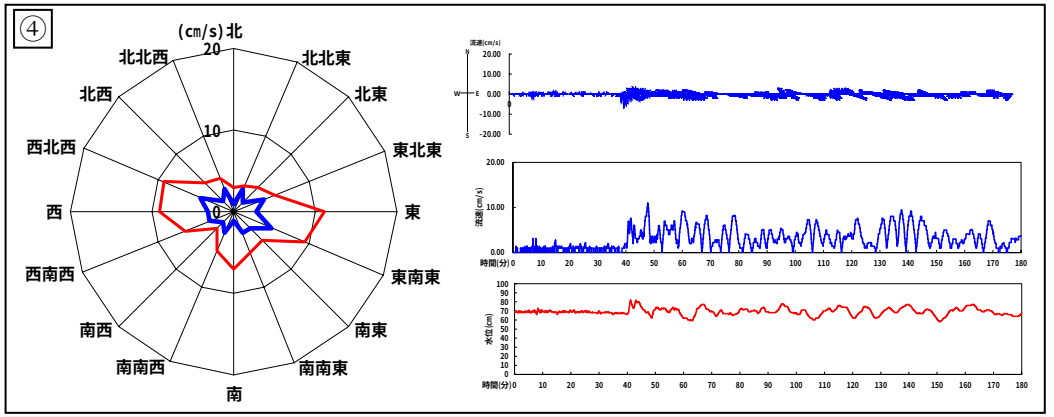
資料 3-3

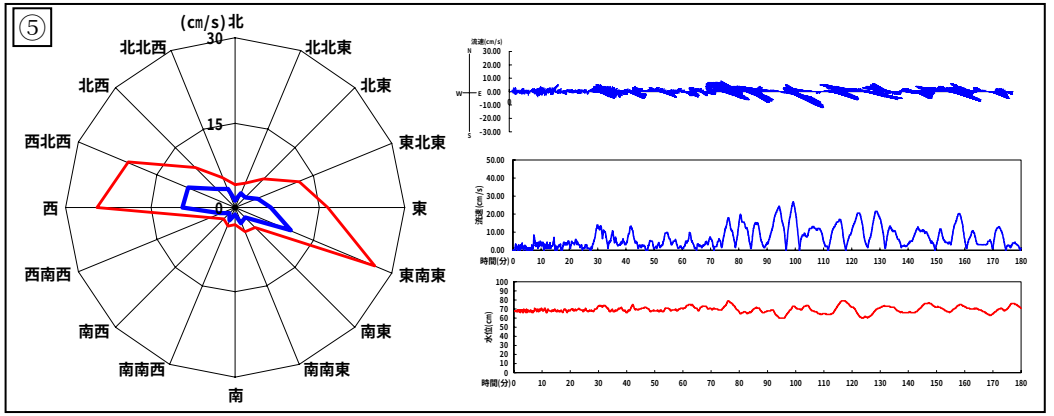
資料 3-4

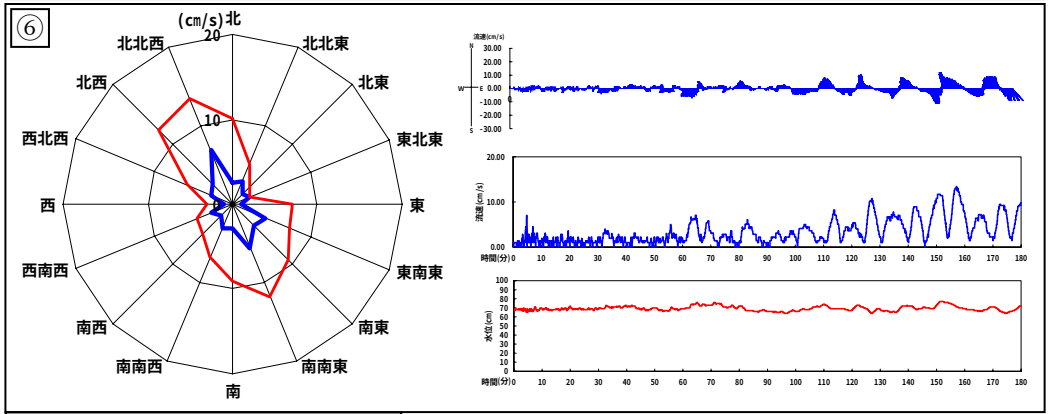








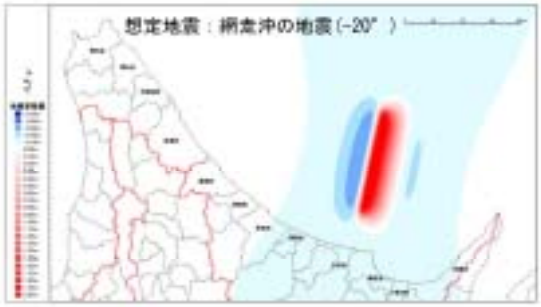




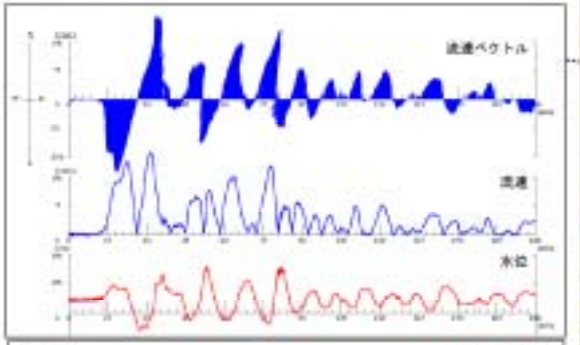
流向別出現頻度

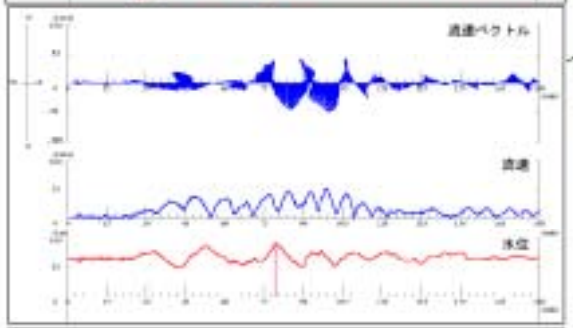
：平均流速　　：最大流速

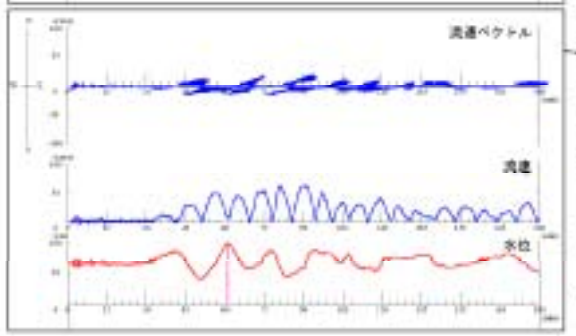
2.湖内における津波の挙動について【能取湖】

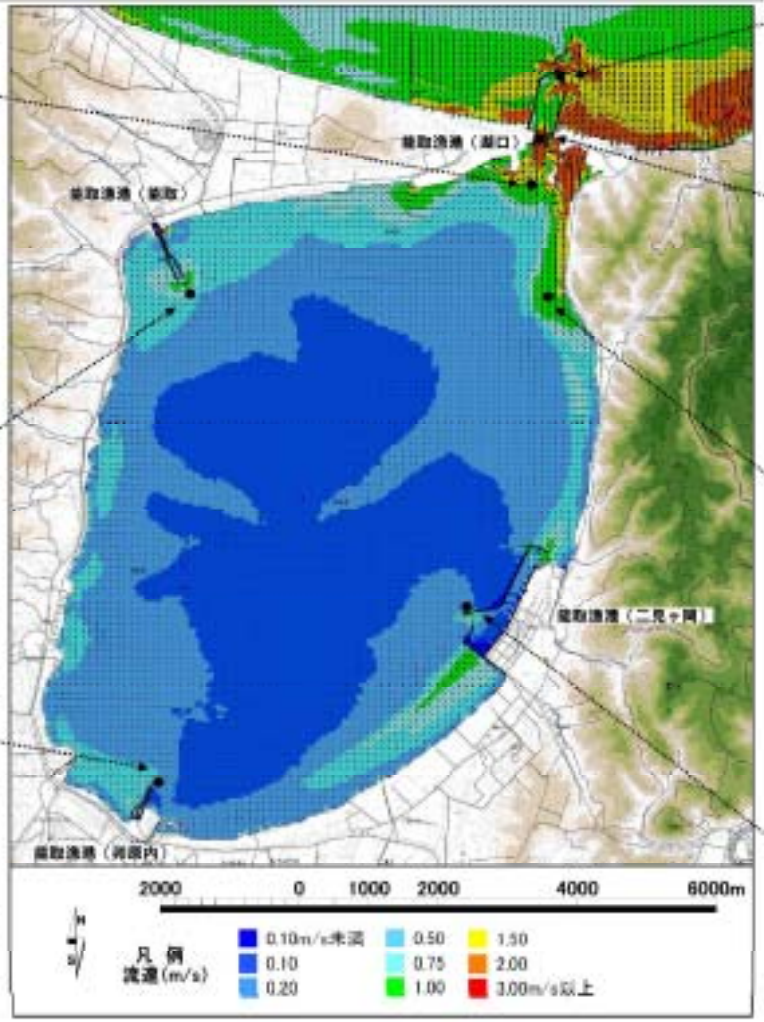


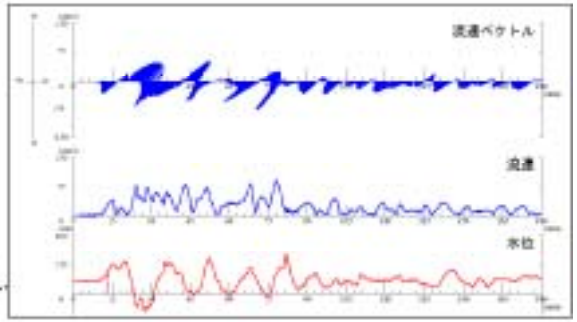
網走沖の地震に伴う津波は、能取湖口前面に約 1.5mの津波が 15 分程度で来襲する。湖口で 2 m/s を超える非常に早い流速となる。しかしながら、能取湖の地形的特長として、湖口が狭く湖奥にかけて広くなる袋状の形状で、湖の形状からすると、湖奥での津波の波高がそれほど高くならない形状を有している。流速は、湖口周辺で 2m/s 程度ともっとも速く、湖内での挙動を見ると、湖内の漁港施設の周辺で約 1m/s 程度の速い流れが発生するが、狭い湖口から拡散するため、湖中央部では流速は遅くなると予測される。津波第 4、5 波目まで、津波水位変動が見られ、それ以降は収束にむかうと予測される。操業中の漁業関係者は、湖外への退避避け、寄港或いは、湖奥部か湖中央部への退避が望ましい。

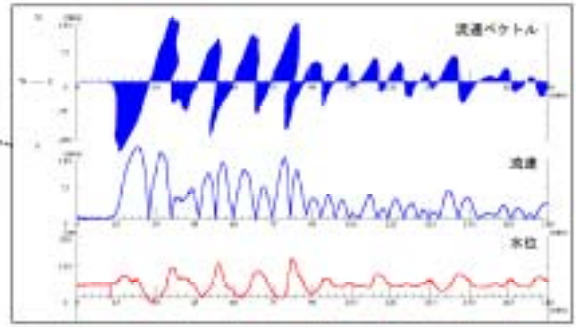


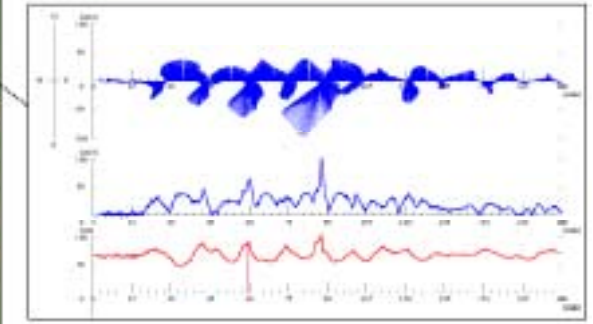


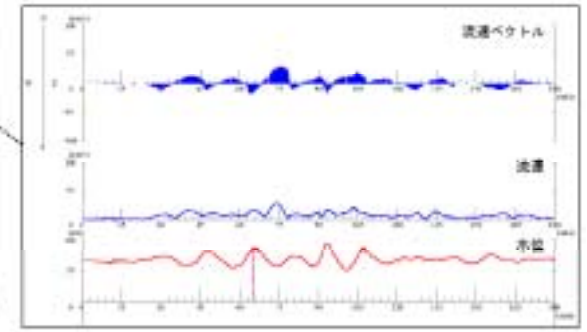












2.湖内における津波の挙動について【能取湖】

